

アメリカ特集2025



ブランドUSA、好調日本市場で 旅行会社に強い期待 ミッション実施、以遠需要喚起と 新キャンペーン訴求



アメリカ合衆国の公式観光マーケティング機関であるブランドUSAは、毎年恒例の「ジャパン・セールス・ミッション」を7月24・25日に都内で開催、同ミッションに合わせて来日したシニア・バイス・プレジデント（グローバルマーケット担当）兼チーフ・トレード&プロダクト・ディベロップメント・オフィサーのマルコム・スミス氏が業界メディアのインタビューに応じた。スミス氏は好調な日本市場を受け、日本の旅行会社に対する強い期待を表明。「日本からの直行便が発着するゲートウェイ都市以遠の旅行需要喚起」と、今年6月に発表した消費者向けグローバル広告キャンペーン「アメリカ・ザ・ビューティフル」の積極的な活用を求めた。



ブランドUSAシニア・バイス・プレジデント
（グローバルマーケット担当）
兼チーフ・トレード&プロダクト・ディベロップメント・オフィサー
マルコム・スミス氏

2024年の日本人の 米国訪問者数は前年比21%増 今年上半期は4%増、85.5万人と 引き続き好調

日本からアメリカへの訪問者数は2024年に184万3879人を記録し、前年比21%増となった。最新の2025年1～6月累計では85万5842人で、前年同期比4%増と引き続き増加傾向を見せる。スミス氏は「他の市場が伸び悩むなか、日本市場は力強い回復を見せている」と強調。

また、カナダとメキシコを除いた国別ランキングでは「2022年には11位まで順位を落としていたが、現在は英国、インド、ブラジルに次ぐ4位につけている」と説明。今年については「通年で5%増を見込んでおり、昨年を上回る数字に期待したい」と述べた。

好調の要因として、スミス氏は航空座席供給の拡大を挙げる。今年はヒューストン（ZIPAIR）、シカゴ（日本航空）、シアトル（ハワイアン航空）への路線が新たに就航。また今年3月まで実施された「日米観光交流年」についても「非常に有意義だった」と評価した。

MLB観戦を契機に各地への 渡航呼びかけ 認知度拡大へ旅行会社の役割強調

日本人選手の活躍によるMLB観戦需要も、日本市場の好調を支える大きな要因のひとつ。スミス氏は「MLB観戦と組み合わせ、別の都市や州を訪れていただけるよう、ゲートウェイ都市以遠の需要を積極的に訴求していきたい」と、強い意欲を示した。

今回のジャパン・セールス・ミッションには、ブランドUSAを除く28団体、35名が参加。「初参加となるアラバマ州観光局をはじめ、アメリカ各地の多様なサプライヤーが参加している」とアピールした。

さらに「来年開催予定のサッカー・ワールドカップ2026の試合が行われるアメリカの11都市には、すべてMLBチームが存在する。サッカー観戦と野球観戦の同時体験も可能」と紹介。他にも鉄道移動や州立公園の魅力にも触れ、「まだ知られていないデスティネーションを日本市場でも積極的に訴求したい」と述べた。

その上で旅行会社の役割の重要性を強調。スミス氏は「ロサンゼルスやニューヨークなどのゲートウェイ都市に比べ、以遠の地域の認知度は依然として低い。認知度拡大には旅行会社への啓蒙が不可欠」とのスタンスを見せる。また「日本の旅行会社では、MLB観戦後に約3割の顧客が別の都市を訪れると聞いており、非常に喜ばしい数字だと捉えている」と旅行会社への期待を改めて表明した。



今年3月のMLB東京シリーズに合わせ、MLBとブランドUSA、対戦チーム（シカゴ・カブス、ロサンゼルス・ドジャース）の観光局が集まった旅行業界向けイベント「MLB東京シリーズ ツーリズム&ホスピタリティ・ショーケース」の様子

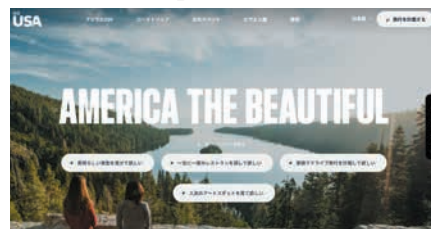
新キャンペーン 「アメリカ・ザ・ビューティフル」 日本を含む8市場で 「BtoBも巻き込んで」展開

スミス氏は、2025年6月に開催されたアメリカ最大の旅行業界イベント「IPW」で発表された新グローバル広告キャンペーン「アメリカ・ザ・ビューティフル」にも言及。「2026年に限らず、2028年のロサンゼルス五輪・パラリンピック、2034年のソルトレイクシティ冬季五輪・パラリンピックなど、世界中の注目イベントをフッ

クに、アメリカの人々の温かさやノスタルジックな魅力を再発見してもらいたい」と意図を説明した。

キャンペーンはまず、日本を含む8市場（日本、韓国、オーストラリア、英国、アイルランド、インド、ブラジル、アルゼンチン）で今秋より展開する。スミス氏は「市場動向や経済状況、渡航意欲などを総合的に判断して決定した」と8市場の選定理由を述べた。

またキャンペーンの特徴として、AIを活用した提案機能を備えたキャンペーンサイトを紹介。「個々の希望や嗜好に応じてカスタムメイドの旅行提案ができる」とアピールした。



AIによる提案機能を盛り込んだ
「アメリカ・ザ・ビューティフル」キャンペーンサイト
americathebeautiful.com/ja

さらに「一般消費者向けのキャンペーンではあるが、旅行業界の方々にもキャンペーンを知って頂き、キャンペーンを活用して頂きたい」と説明。現地サプライヤーや海外旅行会社向けにキャンペーン画像や動画、ロゴを利用できる「ツールキット」を提供、「BtoBを巻き込んだ形で展開する。広告キャンペーンのメディアプランを事前共有し、旅行業界の皆様にもメリットのある形で進めたい」と呼びかけた。

建国250年に合わせ 250名のアンバサダー認定 日本の旅行会社からも選出

また、旅行業界向けの施策として、スミス氏は、「アメリカ建国250周年に合わせ、世界中から250名の旅行会社スタッフをアンバサダーに任命する計画」を明らかにした。

具体的には「アメリカの販促やSNSでの魅力発信に積極的な旅行会社スタッフを選び、アンバサダーとして活躍してもらおう」と説明。ブランドUSA主催の研修旅行やプロモーションへの優先参加などの特典を検討、日本からは「10～20名程度を選出したい」と述べた。

ジャパン・セールス・ミッション、28団体が参加 日本からは100名以上が来場



セミナーの様子

今年のジャパン・セールス・ミッションには、アメリカ側から観光局、アトラクション、ホテル、レンタカー会社など28団体が参加し、日本側からは100名以上の旅行会社スタッフが集まりセミナーを実施した。

セミナー冒頭、ブランドUSAグローバルトレード・ディベロップメント・シニア・ディレクター(アジア太平洋地区)スージー・シェパード氏は、サッカー・ワールドカップ2026や建国

他にも、旅程の自動作成が可能な「トリッププランナー」や、30以上のドライブルート網を網羅する「Road Trips USA」など、旅行業界向けウェブサイトについて説明。さらに昨年より日本にも正式に導入された「グローバルエントリープログラム(GEP)」や、米国国土安全保障省 税関・国境取締局(CBP)が開発した公式アプリ「モバイル・パスポート・コントロール(MPC)」についても

250周年、ルート66の100周年など、来年の主要イベントを挙げ、「これらはアメリカがプロモーションをするのに絶好の機会だと捉えている」と強調。また「アメリカ・ザ・ビューティフル」についても触れた。

紹介。同アプリは、ESTAでの渡航が2回目以降の場合、入国や税関審査に必要な情報を事前登録することで、アメリカ到着時にMPC専用レーンが利用でき、スムーズな入国が可能となる。



セミナーで挨拶する
ブランドUSAグローバルトレード・ディベロップメント・
シニア・ディレクター
(アジア太平洋地区)スージー・シェパード氏

なお、今回ジャパン・セールス・ミッションに参加したサプライヤーは以下の通り(順不同)。



「ジャパン・セールス・ミッション」に参加したアメリカ側サプライヤー

- コロラド州観光局
- ユタ州観光局
- ソルトレイクシティ観光局(ユタ州)
- ラスベガス観光局(ネバダ州)
- マーベリック・ヘリコプター
- フェアバンクス観光局(アラスカ州)
- ヒルトン・ワールドワイド
- ツアーアメリカ社
- ハーツレンタカー
- テキサス州観光局
- オースティン観光局(テキサス州)
- ヒューストン観光局(テキサス州)
- シアトル観光局(ワシントン州)
- オレゴン州観光局
- ポートランド観光協会(オレゴン州)
- カリフォルニア観光局
- ディズニー・ディステーション・インターナショナル
- サンフランシスコ観光協会/
サンフランシスコ国際空港(カリフォルニア州)
- ザ・グランドホテル・サニーバイル&
クパチーノ・ホテル(カリフォルニア州)
- ワシントンD.C.観光局
- キシミー観光局(フロリダ州)
- オーランド観光局(フロリダ州)
- ユニバーサル・デスティネーションズ&
エクスペリアンシズ
- グレーター・マイアミ観光局(フロリダ州)
- アラバマ州観光局
- メンフィス観光局(テネシー州)
- シカゴ観光局(イリノイ州)
- シェリダン観光局(ワイオミング州)



カリフォルニア観光局
visitcalifornia.com/jp

カリフォルニアは最高の ロードトリップ・デスティネーション



©Visit California

目的地に到着するまでの道中を楽しむ

自由で絆を深める体験に

車窓の景色を楽しみながら、途中で気になるスポットに立ち寄るなど、目的地に向かう道中そのものを楽しむロードトリップ。調査機関によると、旅行者の81%が「自由を感じる体験」、75%が「旅仲間との絆を深める」と回答している。



©Visit California

なかでもカリフォルニアは、全米において最もロードトリップへの人氣が高く、豊かな自然と魅力的な都市、自由に遊び心あふれる文化が詰まったカリフォルニアならではの旅のスタイルと言えるだろう。

気軽に、多彩に楽しめるのが魅力

列車やバスでもロードトリップ

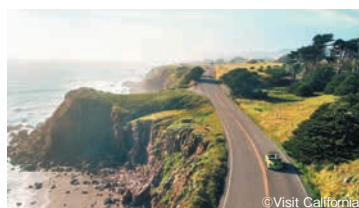
ロードトリップの楽しみ方は人それぞれ。長距離の移動でなくても、サンフランシスコのベイエリア周遊や、ロサンゼルスからアナハイム、オレンジ・カウンティに向かうルートなど、都市を起点とした「ゲートウェイ・ロードトリップ」でも多彩な体験が楽しめる。



©Visit California

セルフドライブはもちろん、車窓を楽しむアムトラックやカルトレインなどの列車やバスの旅も立派なロードトリップ。多様性を尊重するカリフォルニアでは、すべての旅行者を歓迎している。

環境に優しい旅も実現



©Visit California

カリフォルニアはサステナブルな旅のリーダーとして、CO₂削減や電気自動車の普及を積極的に推進。州内には広範なEV充電ネットワークが整備されており、環境に優しいロードトリップが可能だ。また列車やバスのロードトリップも、効率的で安全、かつエコな移動手段として注目されている。

ウェブサイトでは50以上のルートを紹介

カリフォルニア観光局の公式ウェブサイトでは、大自然や歴史探訪、食事やワイン、クラフトビール、映画や音楽まで、50以上の多彩なルートを紹介中。

visitcalifornia.com/jp/road-trips



©Visit California/David Collier

2026年に開通100周年を迎える「アメリカのマザーロード」ルート66。シカゴからサンタモニカまで、8つの州を横断する総延長3940kmのハイウェイだが、カリフォルニアではサンタモニカからニードルスまで、都会から砂漠へ、そして現代からいにしへの時への移り変わりを体感できる。数多くの小説や映画、音楽の舞台となり、今も愛され続けるルート66を走り抜けよう！

開通100周年を迎える「ルート66」 「マザーロード」をたどる旅



パサデナ

歴史的建造物と美術館が点在し、アートと文化が調和する落ち着いた空気が漂う



サンバーナーディーノ

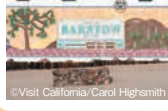
マクドナルド創業者が営んだ最初の店の跡地は、ファストフードの歴史を伝えるミュージアムに



©Visit California/David Collier

バーストウ

モハベ砂漠の玄関口。ルート66博物館で往年のロードトリップ文化を体感



©Visit California/Carol Highsmith

モハベ国立自然保護区

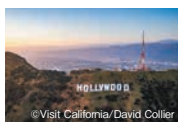
広大な砂漠と荒野が続き、砂丘やサボテンが織りなす壮大な景観に心奪われる



©Visit California/David Collier

ハリウッド

映画と音楽の本場。ハリウッド・ブルバードでエンターテインメントの熱気を体感



©Visit California/David Collier

サンタモニカ

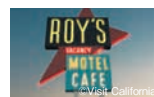
太平洋を望むルート66の終着地は、ビーチカルチャーが息づく海辺の風景が広がる



©Visit California/Max Whitaker

アンボイ

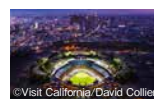
ネオンサインが象徴的な「ロイズ・モーター&カフェ」は、ルート66の代表的なシンボルのひとつ



©Visit California

ダウンタウン LA

ドジャー・スタジアムのMLB観戦やグラッド・セントラル・マーケットのグルメ体験など、楽しみ方は多彩



©Visit California/David Collier

カリフォルニア ディズニーランド・リゾート 70周年セレブレーション開催中



リゾート全体はカラフルでハッピーなデコレーションでゲストをお迎え



70周年セレブレーションで初登場
「ワールド・オブ・カラー・ハピネス!」



ピクサー・アニメーション・スタジオ映画の20以上の
キャラクターが登場するエネルギッシュなパレード
「ベター・トゥギャザー・ピクサー・パレ・セレブレーション!」

世界で一番最初にできたディズニーランドの開園70周年を記念し、
2025年5月から2026年夏までカリフォルニア ディズニーランド・リゾート全体でセレブレーションイベントを開催中。

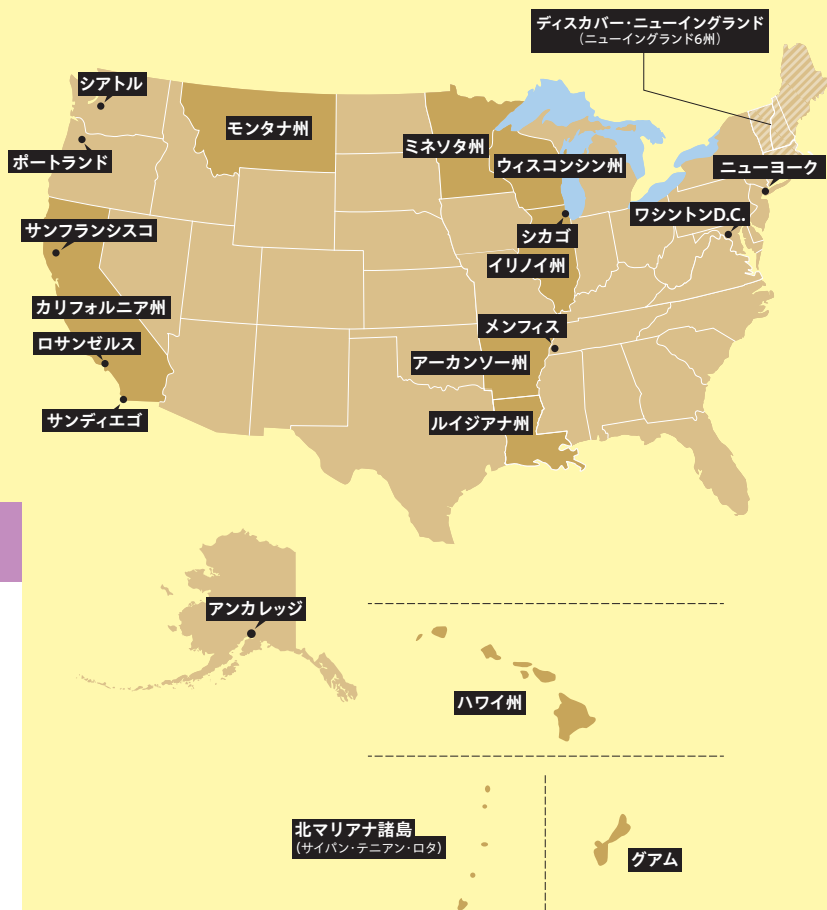
昼も夜も楽しめるエネルギッシュでハートフルなエンターテインメントが満載。
この期間限定でしか体験できないアトラクションやパレード、ショー、グッズやフードなど盛だくさん。
さあ、一緒にお祝いしましょう!

70周年の詳細は [Disneyland.jp/70](https://disneyland.jp/70)



建国250周年などの 周年イベントや スポーツイベントを切り口に

2026年に建国250周年を迎えるアメリカ合衆国。また来年はFIFAワールドカップが開催されるなど、注目イベントも目白押しだ。ここでは、旅行造成にも役立つ各地の観光局がおすすめする周年イベントやスポーツイベントをまとめてみた。



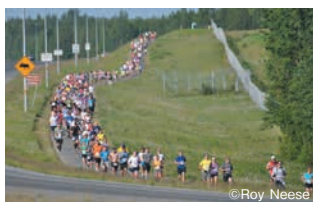
アンカレジ観光局

anchorage.net

アンカレジ市長杯マラソン

スポーツイベント

日照時間が22時間にもなる夏至の6月に行われるマラソン大会。50年以上の歴史があり、毎年国内外から多くのランナーが参加する。フル、ハーフ、リレー、キッズマラソンなど多彩なコースがあり、景観が素晴らしいコース設定で非常に人気が高い。



©Roy Neese

www.anchoragemayorsmarathon.com

マリアナ政府観光局

marianas.jp

第16回サイパンマラソン

スポーツイベント

多くの日本人ランナーが参加。満天の星空や碧い海の景色が楽しめるコースと笑顔溢れるボランティアの応援。アフターパーティーでは、ローカルフードやライブ演奏、賞金と表彰式もあり人気。



©Junji Takasago

runnet.jp/project/saipanmarathon202505 (サイパンマラソン2025特集)

シアトル観光局

visitseattle.jp

2026年FIFAワールドカップ・シアトル開催

スポーツイベント

開催都市のひとつ、シアトルはサッカーを愛する街。ルーメン・フィールドでは6試合が予定されており、市内各地のバーやレストランでは、多くのウォッチパーティーが開催される。シアトルで、サッカーの熱気を体感しよう!



©Visit Seattle/Brittany Carchiano

visitseattle.jp/アクティビティ/スポーツ観戦/

グアム政府観光局

visitguam.jp

2026年4月開催「KOKO ROAD RACE 2026」

スポーツイベント

日本から3時間半で行ける一番近いアメリカ・グアムで、リゾートランニングを体験しよう! KOKO ROAD RACEでは、常夏の南国グアムならではの海風を感じながら気持ちよく走ることができる。



提供:グアム政府観光局

www.visitguam.jp/events/koko_road_race_2026

ハワイ州観光局

allhawaii.jp

ビショップミュージアムの常設展示「伝統航海術 (Wayfinding)」

周年イベント

ポリネシアの伝統航海術を復元した双胴船「ホクレア」は、進水から2025年で50周年を迎える。現在は太平洋一周の「モアナヌイアケア航海」に出航中で、2027年に日本寄港を予定。ハワイ州観光局はその準備の一環として、9月15日までクラウドファンディングを実施中だ。



©Polynesian Voyaging Society

www.bishopmuseum.org/wayfinders-jp

ポートランド観光協会

travelportland.com/ja

女子プロバスケットボールチームが誕生

スポーツイベント

女子スポーツの中心地ポートランドに2026年WNBA新チーム「Portland Fire」が誕生！開幕戦はモダセンター。女子スポーツのみを観戦できる話題の「Sports Bra」では、ビール片手に応援も！

fire.wnba.com



モンタナ州政府駐日代表事務所

www.bigskyjapan.com

フライフィッシング

スポーツイベント

モンタナで楽しめるスポーツは多々あるが、やはりフライフィッシングに関しては聖地と呼ばれている。パラダイスバレーやフラットヘッド湖など、釣り人にとって貴重なスポットが数多くある。大物を待つ間、山々の絶景を楽しむ。まさに「リバー・ランズ・スルー・イット」のワンシーンだ。



©モンタナ州政府観光局

カリフォルニア観光局

visitcalifornia.com/jp

ルート66開通100周年を祝う

周年イベント

多くの旅人を誘い、アメリカンドリームを運んだルート66。カリフォルニアでは、サンタモニカからニードルズの砂漠地帯へと走り抜ける。100周年の記念の年に、アメリカの歴史に思いを馳せる旅を！

visitcalifornia.com/experience/celebrate-route-66-centennial



©Visit California/David H Collier

サンフランシスコ観光協会／サンフランシスコ国際空港

sftravel.com/jp

25周年を迎えた全米最大級の無料音楽祭

周年イベント

「Hardly Strictly Bluegrass 2025」は、ゴールデンゲートパークで開催される全米最大級の無料音楽祭。多様なアーティストが出演し、公式グッズも充実。豪華アーティストの出演もあり、今年で25周年を迎える。

hardlystrictlybluegrass.com



©Hardly Strictly Bluegrass

ロサンゼルス観光局

www.discoverlosangeles.com/jp

世界が注目するスポーツの聖地、SoFiスタジアム

スポーツイベント

26年FIFAワールドカップ、27年NFLスーパーボウル、28年五輪開会式の舞台となるSoFiスタジアム。試合がない日も未来型スタジアムの見学ツアーがあり、誰でも楽しめる注目スポット。人気チームのストアでは公式グッズが手に入るのでお土産にもおすすめ。

discoverlosangeles.com/jp/sofiスタジアム:laのnewアイコン



©SoFi Stadium at Hollywood Park

サンディエゴ観光局

sandiego.org/about

ペトコパークのプレゲームツアーがさらに充実

スポーツイベント

全米No.1球場に選ばれたペトコパークで野球観戦をするなら、プレゲームツアーに参加するのがおすすめ。ビジターチームのバッティング練習が見学できる「ダウン・ザ・ライン・プレゲームツアー」が新登場。日本語ガイドによるツアーもアレンジ可能。

mlb.com/padres/ballpark/tours/pre-game



アーカンソー州観光局

arkansas.com

ツアー・オブ・アーカンソー・ステージレース

スポーツイベント

毎年春に開催されているアメリカ最古級の自転車ロードレースで、その歴史的資産を継承しつつ、規模と国際性を拡大した新しいUCI(国際自転車競技連合)認定のステージレースとして、2026年5月にスタート予定。

arkansasoutside.com/tour-of-arkansas-stage-race-planned-for-2026-all-sports-productions-announces



©Arkansas Department of Parks Heritage & Tourism

ルイジアナ州観光局

explorelouisiana.com

ラファイエットのアメリカ歴訪200周年記念特別展

周年イベント

フランスの英雄ラファイエット伯爵のアメリカ歴訪200周年を記念する特別展「ビアンヴェニュー・ラファイエット」でフランスとアメリカの自由と民主主義の共有の歴史を体感。ルイジアナ州立博物館にて、2026年1月18日まで開催。

louisianastatemuseum.org/exhibit/bienvenue-lafayette



Louisiana Office of Tourism

ミネソタ州観光局

exploreminnesota.com

2026スペシャル・オリンピックUSA大会

スポーツイベント

ツインシティーズにて開催される全米最大級の障がい者スポーツイベント。全50州から約3000人のアスリートが集結し、16の公式競技や多彩なイベントを通じて、能力と包括性を祝う。2026年6月20日～26日開催。

2026specialolympicsusagames.org



ウィスコンシン州観光局

travelwisconsin.com

ハーレーダビッドソン・ホームカミング

スポーツイベント

音楽、バイクカルチャー、そしてその故郷であるウィスコンシン州ミルウォーキーを祝う、毎年恒例のフェスティバル。博物館でのイベントやハーレー本社での試乗体験など盛りだくさん。2026年は7月9日～12日に開催。

hdhomecoming.com



イリノイ州観光局

enjoyillinois.com

イリノイ州ルート66 100周年

周年イベント

2026年に100周年を迎えるルート66はアメリカの中心地の魅力を余すところなく堪能できる場所。その起点であるイリノイ州は、期間中、記念イベントを通じて、この歴史あるハイウェイの文化的、経済的、そして歴史的重要性を称える。

dceo.illinois.gov/events/route66centennial.html



シカゴ観光局

choosechicago.com

シカゴでルート66の100周年を祝う

周年イベント

来年100周年を迎える「ルート66」のスタート地点であるシカゴ。有名な標識の記念撮影、当時から続く人気レストランでの食事、国道を見下ろす展望台で最高の記念写真など、おすすめアクティビティが満載。

choosechicago.com/blog/architecture-history/the-ultimate-route-66-chicago-itinerary



ニューヨーク市観光会議局

nyctourism.com

Sail 4th 250

アメリカ建国250周年

2026年7月3日から8日までの開催。30隻以上の帆船と40隻を超える灰色艦艇による国際パレードや海軍観閲、航空ショー、花火などが行われ、記念すべき周年のスタートを盛大に祝う海洋祝祭となる。

sail4th.org



ディスカバー・ニューイングランド (ニューイングランド6州)

discovernewengland.org

各州でイベントや史跡巡りを楽しむ

アメリカ建国250周年

ニューイングランドは米国北東部6州の総称。17世紀に英国から移住者が入植し、独立戦争の発端となった歴史的地域だ。中心はマサチューセッツ州で、最初に独立したのはニューハンプシャー州。建国250周年を記念し、各州でイベントや史跡巡りが楽しめる。

コネチカット州 ct250.org

メイン州 maine.gov/sos/america250me

ロードアイランド州 rhodeisland250.org

マサチューセッツ州 massachusetts250.org

バーモント州 anniversary250.vermont.gov



メンフィス市観光局

memphistravel.com

メンフィス・イン・メイ

スポーツイベント

テネシー州メンフィスで毎年5月に開催される、街全体を挙げた月間フェスティバル。音楽・食・文化・スポーツを融合させたイベントで、「グレート・アメリカン・リバーラン」ではシッピ川沿いのダウンタウンを駆け抜ける。

memphisinmay.org



ワシントンD.C.観光局

washington.org/ja

首都で体験する建国250周年の独立記念日

アメリカ建国250周年

アメリカ建国250周年を記念する壮大なイベントでは、鮮やかな色彩と息をのむような演出で花火が夜空を彩り、忘れられないショーとなるだろう。また、盛大なパレードでは、趣向を凝らした山車や見事な衣装、国の豊かな歴史と多様な文化を祝うパフォーマンスも披露される。

dc250.us

